

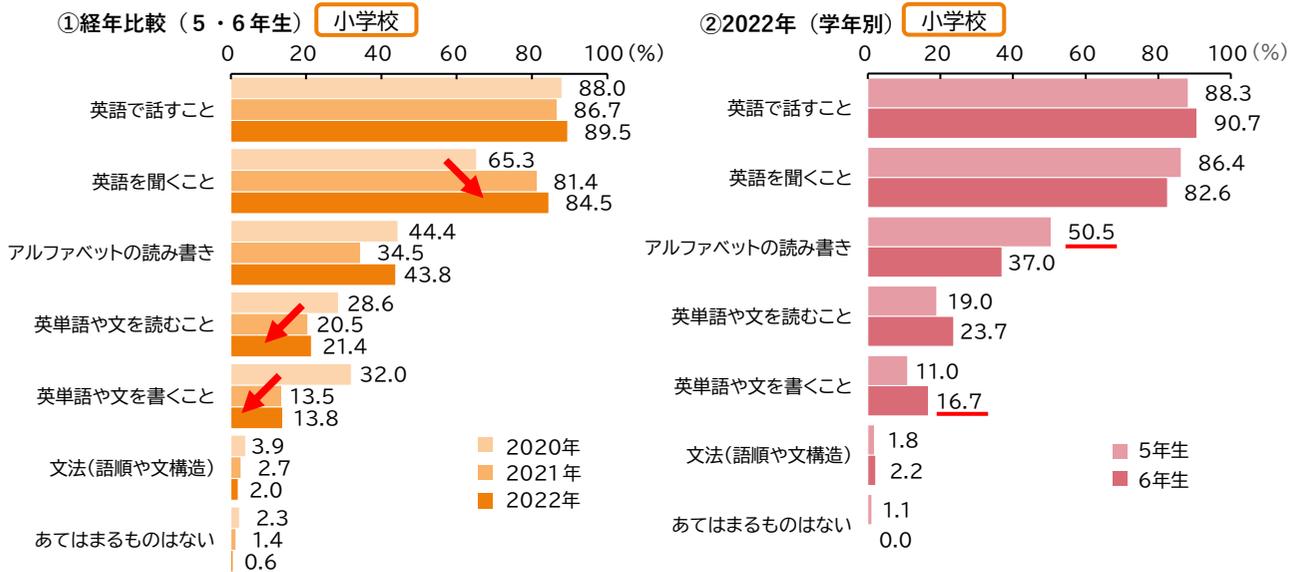
小学校の外国語の授業と評価

授業では「話す・聞く」を継続的に重視  
評価の材料として「パフォーマンステスト」が増加

小学校の外国語の授業で教員が特に意識しているのは、「英語で話すこと」(89.5%)、「英語を聞くこと」(84.5%)で、小学校段階での大切な指導が2020年から継続して重視されている(図5-1①)。「読むこと」「書くこと」に関しては、5年生で「アルファベットの読み書き」、6年生で「読むこと」に次いで「書くこと」が重視され、文字→読む→書くの自然な習得ステップに沿っていると考えられる(図5-1②)。評価の材料では「パフォーマンステスト」が増加して6割台となり、「話すこと」を「パフォーマンステスト」で評価するという指導と評価の一体化がみられる(図5-2①)。

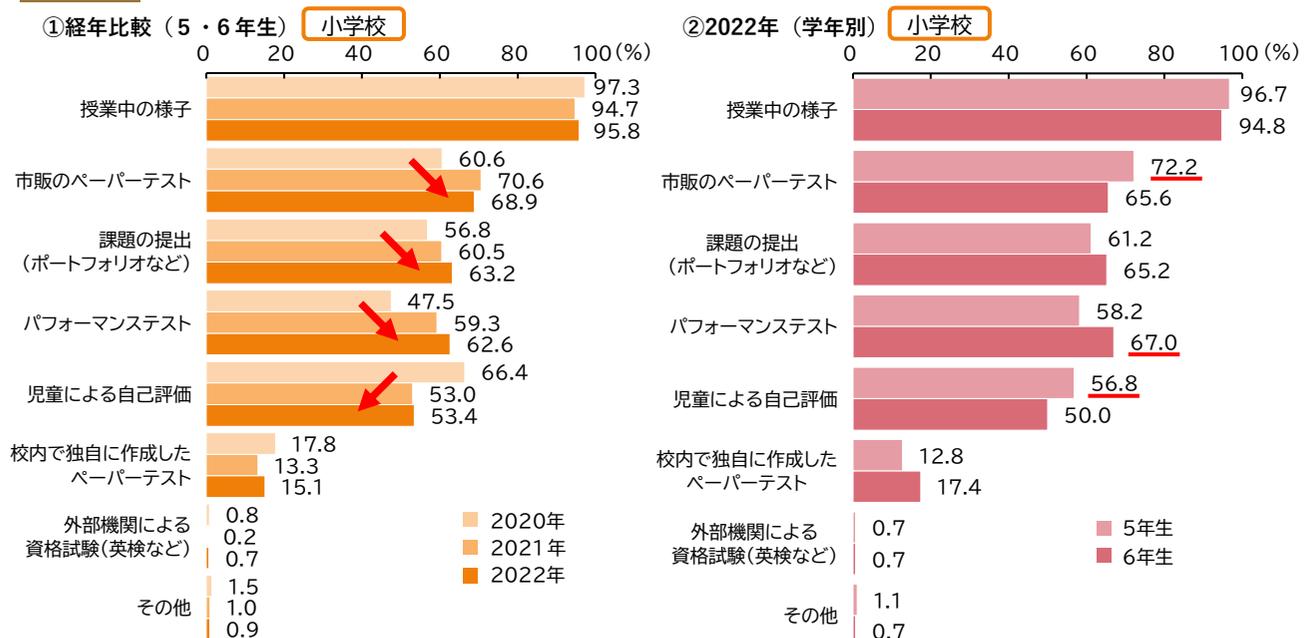
Q 「外国語」の授業で、特に重点的にやろうと意識していることはありますか。

図5-1 外国語の授業で特に重点的にやろうと意識していること



Q 「外国語」の評価の材料には何を使っていますか。

図5-2 外国語の評価に使っている材料



※ 5年生と6年生の担任のうち、「外国語の授業を担当している」と回答した教員のみ(図5-1~2)。

※ 複数回答(図5-1~2)。

※ 5年生と6年生の比率に5ポイント以上差がある場合に、比率が高いものに下線を引いている(図5-1②、図5-2②)。

V. 新学習指導要領のもとでの  
学習評価

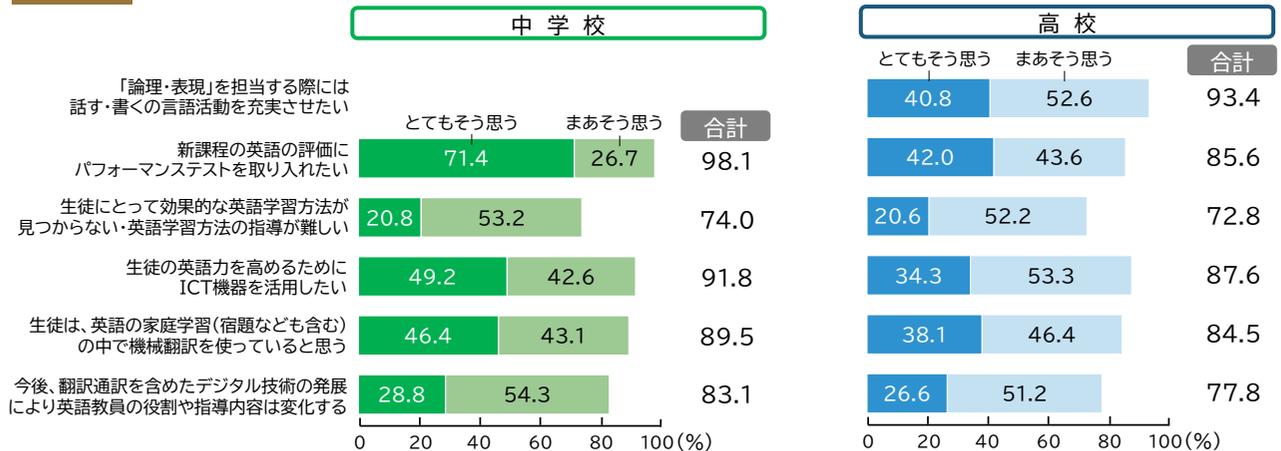
中学校・高校の外国語の指導と評価

「パフォーマンステストを取り入れたい」は中学校98%、高校85%  
8割以上の教員が、生徒は「機械翻訳を使っている」と回答

中・高校ともに、英語で話すこと、英語を書くことを評価する「パフォーマンステスト」の実施や「ICT機器」の活用の意向は強い。一方で、7割以上の教員が「効果的な英語学習方法が見つからない・英語学習方法の指導が難しい」と感じ、約8割が、デジタル技術の発展で「英語教員の役割や指導内容は変化する」と予測している。

Q 英語指導において、あなたは次のようなことをどれくらいそう思いますか。

図5-3 英語指導に関する意識(2022年)



※担当教科を「外国語」と回答した教員のみ。の回答。

※9項目のうち6項目を示している。「『論理・表現』を担当する際には話す・書くの言語活動を充実させたい」の項目は、中学校には尋ねていない。

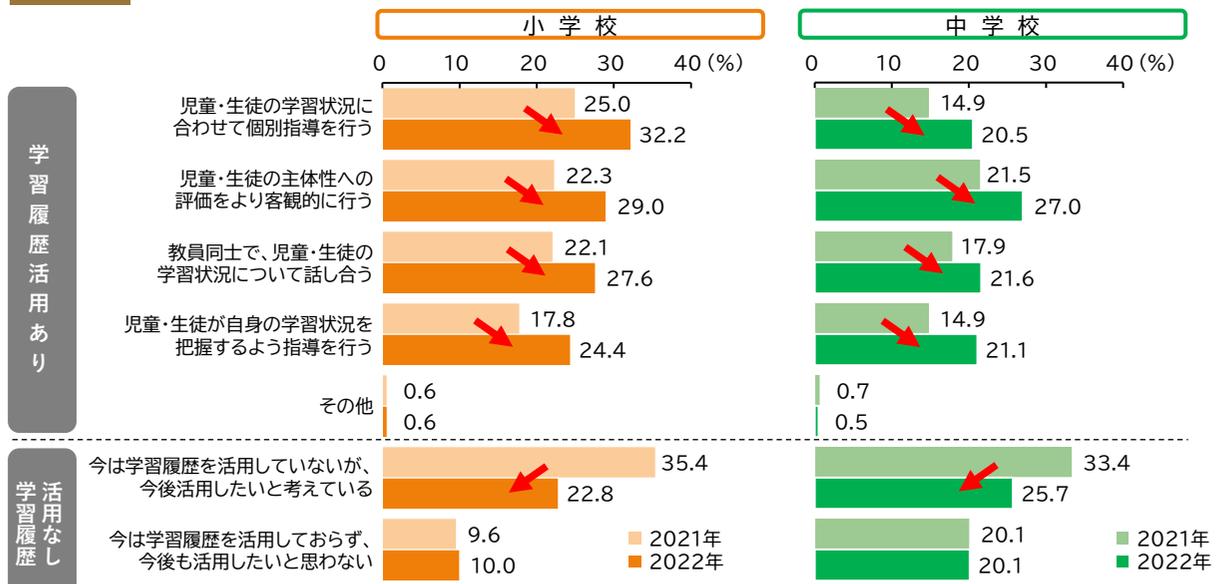
学習履歴の活用実態

小・中学校で学習履歴の活用が大幅に増加

2021年から2022年にかけて、児童・生徒の学習履歴の活用が大幅に増加した。活用のしかたでもっとも比率が高いのは、小学校では「個別指導を行う」(32.2%)、中学校では「主体性への評価をより客観的に」(27.0%)であるが、教員が「学習状況について話し合う」ことや「児童・生徒が自身の学習状況を把握する」ことへの活用も、小・中学校ともに2割を超えている。

Q あなたは1人1台端末に残された児童・生徒の学習履歴を活用して、次のことをしていますか。

図5-4 学習履歴の活用有無と活用のしかた(経年比較)



※1人1台端末の「導入が完了している(あてはまる)」と回答した教員のみ。の回答。

※「学習履歴活用あり」の5項目は複数回答、「学習履歴活用なし」の2項目は「学習履歴活用あり」に回答しなかった教員対象で単一回答。

定期試験の内容と出題のしかた

定期試験に「記述式の問題を出す」教員は中学校9割強、高校8割強

中学校では、定期試験に「習得」「活用」「思考力・判断力・表現力」を測る問題を出す比率がほぼ同程度（9.5割以上）であるが、高校では「習得」（9.5割強）に比べて「思考力・判断力・表現力」の比率が低い（8.5割）。また、出題のしかたをみると、「記述式の問題を出す」比率が中学校で9割強、高校で8割強であるほか、中学校では、2020年からの2年間で「教科書」や「ノートに書かせた内容」からの出題が減少し、「入試問題に対応した問題」や「オリジナルな問題」の出題が増加している。1年間のテストの回数は、中・高校とも単元テストが増加傾向である（表5-1）。

Q あなたが定期試験の問題を作成するときに、次のことはどれくらいあてはまりますか。

図5-5 定期試験の内容と出題のしかた(経年比較) **中学校**

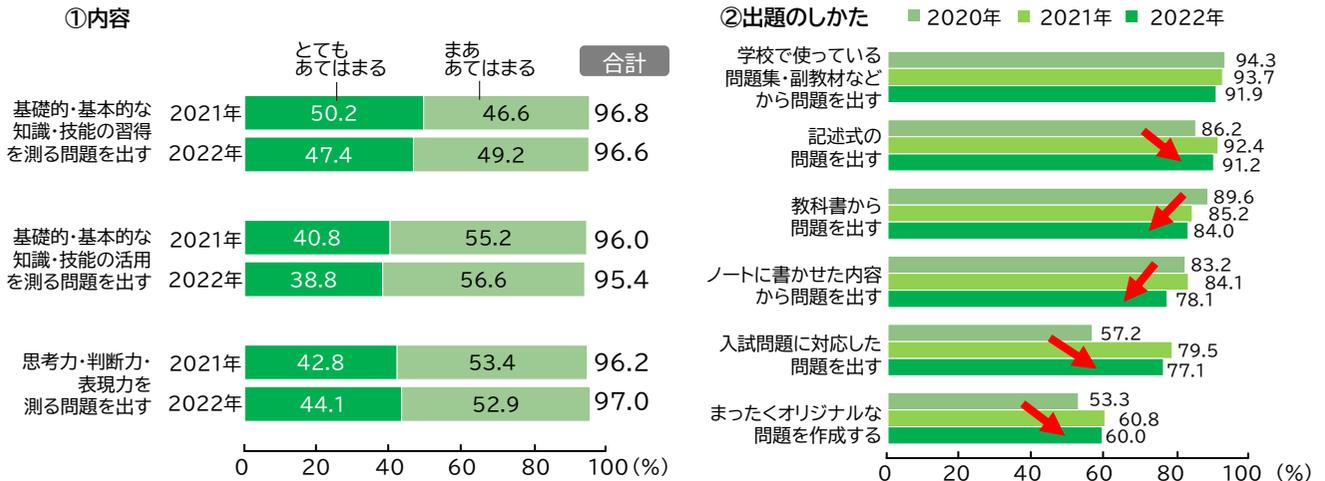
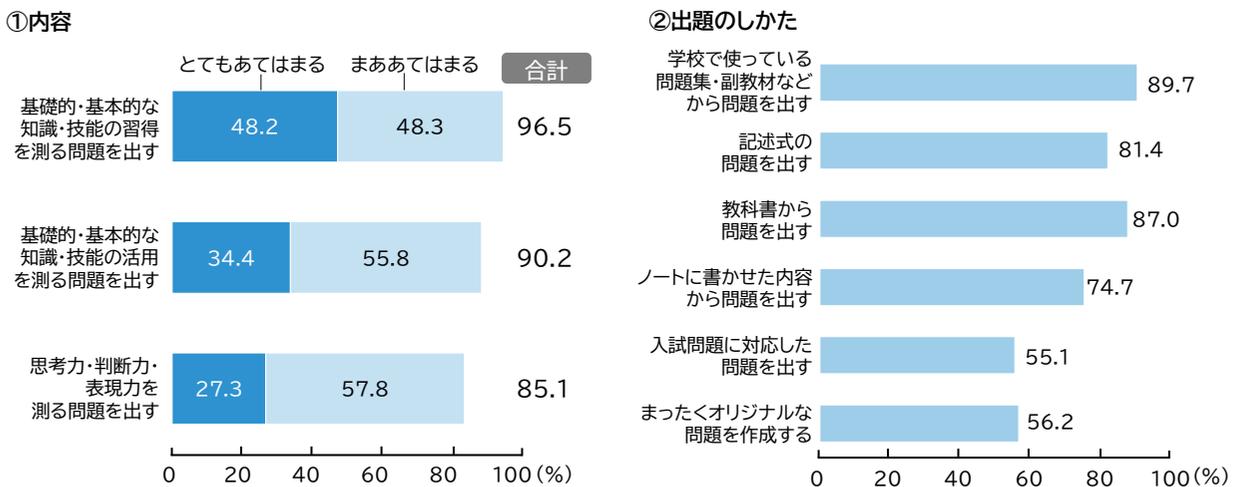


図5-6 定期試験の内容と出題のしかた(2022年) **高校**



※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の% (図5-5②、図5-6②)。

Q あなたが主に担当している学年の教科について、次のテストは年間何回ありますか(ありましたか)。

表5-1 1年間のテストの回数(各年度、平均)

		回数(回)			合計
		単元テスト	中間テスト	期末テスト	
中学校	2021年度	4.43	1.66	2.63	8.72
	2022年度	4.69	1.60	2.59	8.88
高校	2021年度	1.77	2.01	2.75	6.53
	2022年度	2.03	1.98	2.74	6.75

※2022年に昨年度(2021年度)と今年度(2022年度)の各テストの回数を回答してもらい、その平均を算出した。